

― 榎下宿の魅力を  
発信したい ―  
地元木材を使った  
看板で地元をPR



5月9日、地区民有志と県・市職員で構成する榎下宿研究会が、榎下バイパスから集落に入る2か所の交差点に地元木材を使った「榎下宿」の案内板を設置しました。同会では榎下宿の魅力を見直そうと、地域でできる活動を一昨年から検討。今回の看板設置はその第一弾。この日は関係者20人が出席して除幕式が行われました。

第31回(社)上山青年会議所杯  
春の選抜中学校野球大会結果

4月25日と29日の2日間、市民球場などを会場に「第31回上山青年会議所杯 春の選抜中学校野球大会」が開かれました。市内外から13チームが参加し熱戦を展開。市内中学校では、南中が見事3位入賞を果たしました。大会結果は次のとおりです。

◆優勝…米沢市立第五中学校 ◆準優勝…山形市立第四中学校 ◆第3位…◇上山市立南中学校◇金山町立金山中学校



横戸市長から感謝状を受け取る吉田さん

温かい母の優しさが、交通事故から家族を守っています。

母の役割は大変大きいと思います」と話していました。

温かい母の優しさが、交通事故から家族を守っています。

ありがとうございます

●市役所1階  
トイレブースを  
ボランティア修理

市商工会建設部会  
(堀川真宏 部長)

5月15日、市商工会建設部会のメンバーが、市民が利用する機会が多い1階トイレの破損したパネルを張替えるなど、ボランティアで修理してくださいました。



車のデザインには、「安全安心のまち かみのやま」の文字と、上山の子どもたちや、特産の果樹などが描かれている(上山あらぎライオンズクラブから寄贈)



青色回転灯  
付き

パトロール車が巡回中  
「安全安心のまち かみのやま」を守れ

児童・生徒の登下校や地域の防犯パトロール、交通安全の啓発に活躍しているパトロール車が、市内を巡回しています。

■市交通安全母の会 平成22年度総会■

母の優しさで「家庭から交通安全」を推進

母親の目線から交通安全を呼びかけている「市交通安全母の会」の平成22年度総会が市役所大会議室で開かれ、約50人が参加。季節ごとの交通安全の呼びかけや高齢者世帯訪問などの事業計画が承認されたほか、役員改選が行われ、新会長に立花厚子さん(高野)が選出されました。引き続き、上山警察署の安達眞善交通課長が講話を行い「家庭から交通安全の意識を持つことが重要」と呼びかけました。

また、同会会長を19年間務めた吉田あい子さん(新町)に、横戸市長から感謝状が送られました。吉田さんは「これまで命の重さを感じながら活動してきました。広報紙みどり創刊100号達成をはじめ多くの活動を、会員や地区のみなさんに支えられて楽しく歩んでくることができました。交通事故は一瞬にして尊い命を奪い、被害者と加害者、そしてその家族に深い悲しみを残します。交通事故をなくすための努力を続けることが大切で、そのための『母の会』の役割は大変大きいと思います」と話していました。